

JAS活用マニュアル



令和4年11月

農林水産省

はじめに

このマニュアルは令和4年度JASの活用・制定推進調査委託事業として、一般社団法人日本農林規格協会（JAS協会）が作成し、農林水産省が監修したものです。

本事業は、日本の農業・食品産業の競争力の強化を図り、食料供給の基盤を維持・強化するために、日本農林規格（JAS）の制定・普及を進めることを目的とし、消費者や事業者の多様化・高度化したニーズに対応した新しいJASの制定に寄与することに加え、多くの事業者に既存のJASに関心を持っていただき、広く活用してもらうことを目指します。

このマニュアルでは、幅広いビジネスを展開している10事業者にヒアリングを行い、JASを利用してどのように事業や販路の拡大につなげているのかなど、その事例を簡潔にまとめました。

また、これからJASの認証取得を考えている事業者の方のために、後半はJAS制度のポイントと具体的な認証取得に必要な書類・手続きや問い合わせ先などを分かりやすくまとめてあります。

JASの魅力を感じていただくことで、今後、JASをビジネスに生かすことを目指す多くの皆様に、このマニュアルがお役に立てば幸いです。

目 次

I.	JAS を活用している事業者の声	1-9
1	JAS マーク	1
2	有機 JAS マーク	5
3	特色 JAS マーク	7
II.	JAS マーク貼付のしくみ.....	11
III.	JAS 認証取得の手順	11-16
IV.	JAS の紹介	17-25
1	JAS 一覧	17
2	JAS ピックアップ 10	18
①	しょうゆ	18
②	トマト加工品	19
③	直交集成板	20
④	合板.....	20
⑤	熟成ハム類・熟成ソーセージ類・熟成ベーコン類	21
⑥	障害者が生産行程に携わった食品（ノウフク）	22
⑦	有機農産物・有機加工食品	23
⑧	べにふうき緑茶中のメチル化カテキンの定量法	24
⑨	みそ.....	24
⑩	ベジタリアン又はヴィーガンに適した加工食品・ベジタリアン又はヴィーガン料理を提供する飲食店等の管理方法	25
V.	問い合わせ先一覧.....	26

I JAS を活用している事業者の声 -1 JAS マーク



JAS マーク

品位、成分、性能等の品質についての
JAS（一般 JAS）を満たす食品や林産物などに
付されます。

事例 1

ヤマモリ株式会社

三重県桑名市陽だまりの丘 6-103

規格	事業者の別	認証取得年	主な JAS マーク製品
しょうゆ	取扱業者	昭和 38 年	しょうゆ

■ 活用の経緯

国内のしょうゆ工場はもちろん、タイ王国に設立したしょうゆ製造工場ヤマモリ(タイランド) Yamamori (Thailand) Co.,Ltd.も平成 29 年に JAS 認証を取得しました。当時は、JAS 認証を取得している海外のしょうゆ生産企業はなく、当社が第 1 号になることで、食品業界においても世界にジャパン クオリティ・日本品質を発信するきっかけになればと思い取得に至りました。



代表取締役会長 三林憲忠氏

■ 規格・認証の活用効果

タイ王国で生産したしょうゆは、JAS 品質に厚い信頼を寄せて頂いており、海外駐在の日本人、日本食レストランや日系企業・タイ現地企業の食品加工工場に出荷しています。

■ 今後の展開

海外に JAS マークがより認知されるようになれば、先人たちの努力で培われ評価されている“日本品質”をマークによって明確に伝えることができ、輸出の追い風になると考えています。

事例 2

株式会社サイプレス・スナダヤ

愛媛県西条市小松町新屋敷甲 1171-1

規格	事業者の別	認証取得年※	主な JAS マーク製品
製材	取扱業者	平成 29 年	製材
集成材		平成 29 年	集成材
直交集成板		平成 30 年	直交集成板

※認証取得年は東予インダストリアルパーク工場の認証

■ 活用の経緯

建築基準法施行令等によって、日本国内で用いられる柱、土台、梁といった重要な部分に使用される建築材料は、JAS 等に適合した品質でなければなりません。平成 30 年に開設した約 2 万 2,000 坪の敷地に製材工場棟、集成材工場棟、CLT 工場棟、乾燥装置、製品倉庫等を設け、最新鋭の機械・設備を導入した「東予インダストリアルパーク工場」を建設するにあたっては、一刻も早く JAS 認証を取得できるよう、もっとも気を配りました。



代表取締役専務 砂田雄太郎氏

■ 規格・認証の活用効果

当社は、住宅メーカーに住宅用の構造用製材・集成材を販売しています。住宅メーカーに対して製品を説明する際に、第三者認証である JAS 認証を取得していることは、品質保証の裏付けになり、高い信頼を勝ち取ることができます。さらに、住宅を購入される施主に住宅メーカーより「JAS 製品であること」をお伝えすることができるため、エンドユーザーにも安心を提供することに繋がっていると思います。

■ 今後の展開

製材業は、SDGs と非常に親和性が高いと考えています。木は大気中の二酸化炭素を吸収しながら成長し、吸収された二酸化炭素は木の中に炭素として取り込まれます。その木材を使用した建築物を建てることは、地上に炭素を閉じ込めることになり、地球温暖化防止につながります。近年、高層建築物を木造で建築することが可能になってきており、SDGs との相乗効果で、ますます木造建築は加速し広がっていくと考えています。

木材資源は、唯一日本が潤沢に保有する資源であると言われています。今後は内需だけでなく海外の需要に対しても JAS 認証の力を借りて販売できるようになることを期待したいです。

事例 3

大興産業株式会社

岡山県井原市西江原町 1858-3

規格	事業者の別	認証取得年	主な JAS マーク製品
醸造酢	取扱業者	昭和 55 年	醸造酢

■ 活用の経緯

大正 8 年の創業時から安全安心を第一に考えてきた当社は、醸造酢の JAS が制定された翌年の昭和 55 年に認証を取得しました。それと同時期に、メイン取引先様との大規模な OEM 生産事業が始まり、それが今日まで続いております。このことに、JAS 認証取得による信頼感の向上が、良い影響を与えたと考えております。また、近年復活させた自社ブランド「ウヅラ酢」についても、JAS があるものについては全て認証を取得し、ご好評を頂いております。



代表取締役専務 片山周輔氏

事例 4

マリンフード株式会社

大阪府豊中市豊南町東 4-5-1

規格	事業者の別	認証取得年	主な JAS マーク製品
マーガリン類	取扱業者	昭和 46 年	マーガリン類
ショートニング		昭和 46 年	ショートニング
精製ラード		昭和 46 年	精製ラード

■ 規格・認証の活用効果

当社名は、“マーガリン”をギュッと縮めて“マリン”です。マーガリンには強いこだわりがあり、JAS に沿って設計した商品は、すべて JAS マークを付け販売しています。当社が製造する使い切りタイプの立体型・ポーション型マーガリンの国内シェアは 7 割を超え、全国のホテルや産業給食などにご使用いただいております。その他、業務用・家庭用を問わず多くの取引先様においては、JAS マークを安心安全の証と捉え、当社商品を選択して頂いていると感じています。当社の象徴でもあるフレーバータイプの商品にも JAS マークを付けており、平成 7 年に発売したガーリックマーガリンも売上が大変好調です。



取締役研究部長 川村敏美氏

事例 5

株式会社ナガノトマト

長野県松本市村井町南 3-15-37

規格	事業者の別	認証取得年※	主な JAS マーク製品
農産物缶詰及び 農産物瓶詰 トマト加工品	取扱業者	昭和 44 年	なめ茸瓶詰 トマトケチャップ

※認証取得年は野菜類缶詰等の認証

■ 規格・認証の活用効果

JAS マークを付けるためには、原材料の品質、固形分が何%以上であることなどの規格があります。当社は、規格に基づいた商品設計をして生産しています。JAS マークは、お客様に「規格に適合したもの」という保証をお伝えできることが最大のメリットだと考えています。

JAS 製品を生産する際は、従業員全体で規格遵守の共通認識を持って製造しています。その結果、365 日、毎日同じ味・同じ品質の商品をご提供することができ、お客様から当社の製品は「非常に品質が安定している」とのお声をいただいています。

また、登録認証機関による設備や管理体制の定期的な審査は、技術の維持・向上に繋がっており、認証取得の副次的な効果も感じています。



左) 生産部品質管理課課長 山下誠裕氏
右) 営業部営業企画課課長 三澤淳哉氏

I JAS を活用している事業者の声 -2 有機 JAS マーク



有機 JAS マーク

有機 JAS を満たす農産物などに付されます。
有機 JAS マークが付されていない農産物、畜産物
及び加工食品には「有機〇〇」などと表示すること
ができません。

事例 6

かめまる有機給食協議会

京都府亀岡市

規格	事業者の別	認証取得年※	主な JAS マーク製品
有機農産物	生産行程管理者	令和 2 年 ※取得者：入木啓至氏	有機野菜

■ 活用の経緯

経済危機に直面した経営コンサルタント時代に、市場規模が変わらないのは食料分野であると分析し、以来、農業を開始しました。当時、国内の有機ほ場面積は 0.2% と少なく、この領域で有機農業を行い、後に続く有機農家も育てたいという気持ちから有機農業に取り組み、JAS 認証を取得しました。



代表 入木啓至氏

■ 規格・認証の活用効果

生産者が一括で納品できる販路が必要と考え、有機 JAS 認証を取得している生産者でこの協議会を立ち上げました。亀岡市では、令和 3 年 5 月から有機野菜を使用した「かめまる有機給食」をスタートしており、同市の協力もあり、公立・私立保育園に有機野菜を供給しています。

保育園とその保護者の方には、有機野菜は誰がどのように作っているのか、有機 JAS 制度についてご説明しており、園児も有機野菜だと分かったうえで食べて頂いていると伺っています。また、私立保育園の園長さんからは、「有機野菜を使った給食を園児に提供することが創設以来の夢

だった」と仰っていただき、販売価格についてもご理解をいただいています。

■ 今後の展開

有機野菜のニーズはあり、マッチングさえうまくいけば今後も販路は広がると考えています。

事例 7

株式会社むそう商事

大阪市中央区南新町 1-3-8

規格	事業者の別	認証取得年	主な JAS マーク製品
有機農産物・有機加工食品	輸入業者 小分け業者	平成 13 年 平成 16 年	有機大豆、有機小麦、 有機パスタ、有機調味料、有機コーヒー、 有機菓子

■ 活用の経緯

昭和 61 年、急激な円高による不況期当時、有機食品の輸出は伸び代があると判断し、自然食品・有機食品の専門商社から海外部門を暖簾分けし創業しました。

■ 規格・認証の活用効果

有機 JAS 認証制度は一部外国との同等性※があるため、有機 JAS 認証の取得のみでアメリカや EU 等の同等国に輸出できることは、非常に大きなメリットだと感じています。

有機 JAS 制度が開始する前は、「無農薬栽培」や「減農薬栽培」などの表示があり、生産基準も統一していませんでしたが、「有機」「オーガニック」の定義ができたことにより、共通認識が生まれ、言葉の知名度も上昇したと感じています。

※相手国等と有機同等性が締結されている場合、事業者は、日本の有機 JAS 認証を受ければ、輸出先国の有機認証を受けなくとも、輸出先国において「有機」と表示して流通できます。



海外営業部部長 松田宗道氏

■ 今後の展開

新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要により、これまで以上に有機食品の小売販売の売上が伸びており、2年後には社内商品の有機比率 50%以上を見据えています。

海外でも欧米圏を中心に、年々、二桁位の市場成長が見込まれており、新市場の拡大・新商品の開発のためにも、これから有機認証を取得する事業者には、積極的なサポートをしていきたいです。

I JAS を活用している事業者の声 -3 特色 JAS マーク



特色 JAS マーク

相当程度明確な特色のある JAS を満たす製品などに付されます。

事例 8

JA 全農たまご株式会社

東京都新宿区中落合 2-7-1

規格	事業者の別	認証取得年※	主な JAS マーク製品
持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉	生産行程管理者	令和 2 年 ※取得者：生産者	鶏卵

■ 活用の経緯

SDGs や持続可能性といった言葉が世の中に少しずつ普及しはじめていくなか「鶏卵についても対応できる商品がないか」と販売先と協議し、「持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉 JAS」の取り扱いを開始しました。JAS 認証は、採卵養鶏場と鶏卵選別包装工場が取得しています。

■ 規格・認証の活用効果

令和 2 年に販売を開始してから、右肩上がりで売上が増加し、現在は 25 チェーン(100 店舗以上)で販売させていただいております。



東日本営業本部 阿部勇人氏

事例 9

株式会社ウィズファーム

長野県下伊那郡松川町上片桐 2164-1

規格	事業者の別	認証取得年	主な JAS マーク製品
障害者が生産行程に携わった食品	生産行程管理者	令和元年	リンゴ、野菜、リンゴジュース

■ 活用の経緯

飲食店を経営していた当時、お客さんとして来られていた障害のある方から、一生懸命働いても得られる報酬が低いことを聞き、就労場所の確保と工賃アップを目指し設立しました。100%ノウフク※連携で、障害のある方々と一緒に農業生産を行っています。

立ち上げた当初は、販路がなくせっかくの商品を廃棄してしまう苦しい状況が続いていましたが、「障害者が生産行程に携わった食品の日本農林規格」（以下、ノウフク JAS）の話を聞き、ブランディングを行うことで販路拡大につながると思い、令和元年にノウフク JAS 第 1 号の認証を取得しました。

※ノウフクとは、農業と福祉に由来する言葉で、障害者が農林水産業に就労し、農林水産物の生産行程に携わる取組を指します



代表取締役社長 森下博紀氏

■ 規格・認証の活用効果

取得前から取引のあったアンテナショップでは、JAS マークをつけるようになってから、即日完売といったお声を頂き、令和 3 年は注文に生産が追いつかないほどの状況でした。他のお取引先でも、JAS マークがついたことでノウフク連携の価値を効果的に伝えることができ、単価もアップしました。令和 3 年にリンゴジュースが日本在住の外国人有識者が選定する賞を受賞した際には、選定員から「ノウフク連携という商品背景を JAS マークによって見える化できていることが素晴らしい」といったコメントをいただきました。JAS マークは、商品価値を視覚的に伝えられることが最大のメリットであると実感しています。

農業は作業の細分化が行えるため、障害の程度に合わせた作業配分が可能です。私は「障害のある方々こそが、これからの農業を支える担い手になりうる」と強く感じています。当初の目的であった、障害を持った施設の利用者さんの報酬も、ノウフク JAS 取得以降に年々増やすことができおり、良いことしかありません。

事例 10

日本ハムファクトリー株式会社

静岡県榛原郡吉田町大幡 350-3

規格	事業者の別	認証取得年※	主な JAS マーク製品
ベーコン類	取扱業者	平成 24 年	ベーコン類、ハム類、ソーセージ
ハム類		平成 24 年	
プレスハム		平成 25 年	
ソーセージ		平成 24 年	
熟成ベーコン		平成 24 年	
熟成ハム		平成 24 年	
熟成ソーセージ		平成 24 年	

※認証取得年は茨城工場の認証

■ 今後の展開

日本国内での製造・販売だけでなく、海外への輸出も視野に入れて事業活動を展開しようとしています。その際、JAS マークによって「メイド イン ジャパン」の品質保証がされれば、輸出を進めていくうえで大きな助けになると考えています。

また、熟成 JAS のような日本独自の規格をテコにして、世界に打って出ることが出来れば、当社だけでなく、食肉加工業界全体の輸出拡大に繋がるものと考えます。



取締役茨城工場工場長 稲葉潤氏

※事業者の声における認証取得年の記載について

JAS 認証は、工場毎の取得であることから、工場移転による再取得年等のため、企業として JAS 製品を製造しはじめた年でない場合があります。